

フロアヒンジ 800シリーズ 取扱説明書

この製品は、ドアを自動的に閉じるための機械です。安全に長くご使用頂く為に、以下の「注意事項」をよくご理解頂き、正しくお取扱下さい。

FTMH74-1

お願い

- 取付をされる業者の皆様へ
本書は必ず御施主様、又は管理者様へお渡し下さい。
- 御施主様・管理者様へ
弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しくご使用いただくために、この「フロアヒンジ取扱説明書」をよくお読み下さい。
いつでもお読みになれるように大切に保管して下さい。

1.フロアヒンジの機能説明とお願い

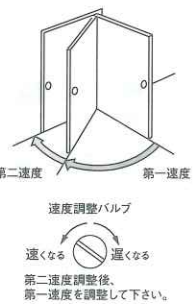
- この商品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなる場合がありますのでご注意ください。ドアの閉じる速度は、閉扉速度調整バルブによりコントロールすることが出来ますので、商品説明図に記載した方法で調整して下さい。又、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押し引いたりしないで下さい。強制的な閉扉操作はドアの閉鎖停止位置がずれたり、フロアヒンジ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。
- フロアヒンジ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は速やかに、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は施工業者様に修理、交換依頼をして下さい。油漏れは放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。
- フロアヒンジ本体は分解、改造、又は閉扉速度調整バルブを必要以上に回転操作しないで下さい。中の部品（バネなど）が油が飛び出して悪むけがしたり、衣服やドア、床などを汚すおそれがあります。
- 床のクリーニング時は、洗剤、薬品、水などをフロアヒンジにかけないで下さい。腐食やオイルシールの劣化による油漏れの原因につながるおそれがあります。時々フロアヒンジのフロアプレートを外し、内部に水が浸入している場合は取除いて下さい。
- フロアヒンジは、機構上一定角度を超えてドアを開く（オーバーアクションという）、内部機構に無理が生じて破損するおそれがあります。オーバーアクションはドアが強風によってあおられたり、人がぶつかるなどの衝撃を受けた場合に不可抗力的に発生します。フロアヒンジが破損すると、ドア自動的に閉じなくなったり、閉鎖停止位置がずれたりします。又、オーバーアクションが起きるとドアが破損することもあります。いずれの場合も危険防止のためドアの使用を止め、速やかに修理依頼をして下さい。

2.異常を感じられた際の対処方法(調整が難しい場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は施工業者様にお問い合わせ下さい)

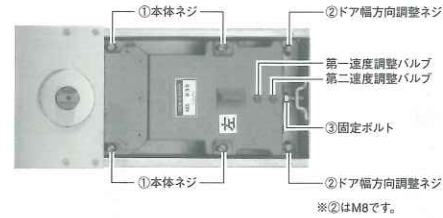
現象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に遅く、又は速くなった	季節の温度変化など	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	閉扉速度調整バルブ	
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	フロアヒンジ本体	建築会社様、工務店様、又は施工業者様に修理、交換依頼願います
ドアの閉鎖停止位置があわなくなった	オーバーアクション、強制的な閉扉操作、フロアヒンジ本体の調整ネジの締め、フロアヒンジ本体、部品取付ネジの締め	フロアヒンジ本体の調整ネジ、部品取付ネジ、フロアヒンジ本体、部品	
ドアの閉鎖時に異音が発生するようになった	フロアヒンジ本体の調整ネジの締め、部品取付ネジの締め	フロアヒンジ本体の調整ネジ、部品取付ネジ	建築会社様、工務店様、又は施工業者様に修理、交換依頼願います
ドアがスムーズに閉鎖出来なくなった	部品取付ネジの締め、軸受部の摩擦	部品取付ネジ、軸受部	
ドアが自動的に閉じなくなり、ぶらぶらするようになった	オーバーアクション	フロアヒンジ本体	

調整のしかた

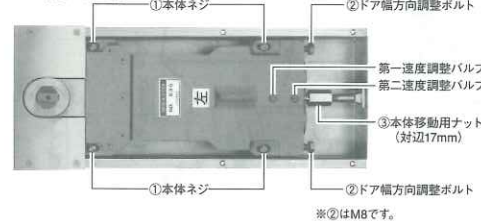
■閉扉速度調整



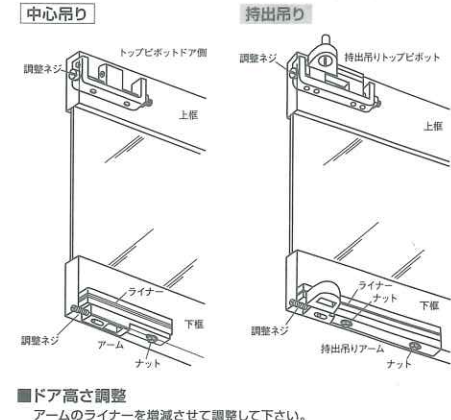
835,845



855,防火ドア用

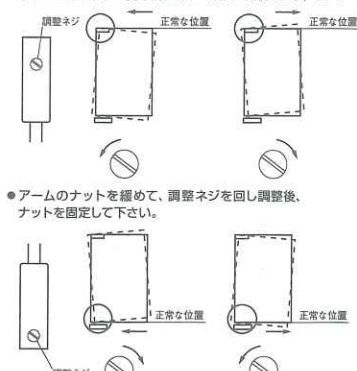


■強化硝子ドア用 ドア高さやドア幅方向の調整



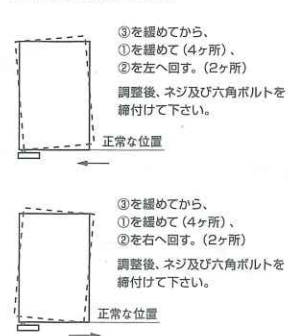
■ドア幅方向調整

- 本体を移動して調整して下さい。
- トップビロッドドア側の調整ネジを回して調整して下さい。

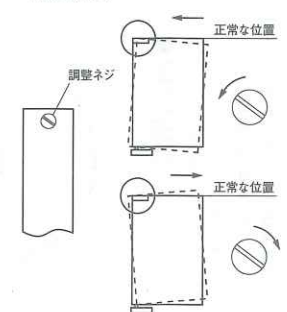


■ドアと壁枠の隙間(テリ)調整(ドア幅方向調整)

●本体移動調整方法

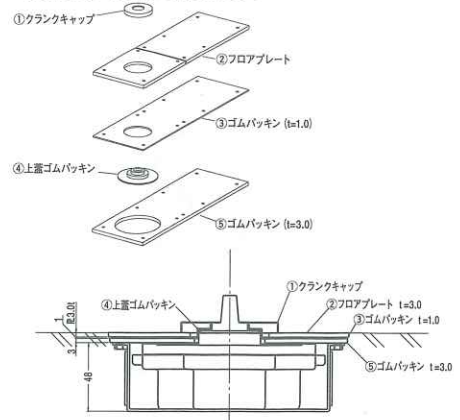


●一般ドア用Z型トップビロッドの調整方法



アクアヒンジタイプの場合

防水型パッキン取付順序
一旦取外し、①～⑤の順に取付けて下さい。



《注意事項》

- 本機は油が漏れるとドアが勢いよく速く閉まり、指をはさんだりドアとの接触等による怪我をする危険があります。本体が割れたり、油のじみや流れが発生し、速度調整をしても油圧が効かず、ゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかに修理、交換して下さい。強制的な閉扉操作は油が漏れる等の不具合の原因になります。閉扉中のドアを無理に速く閉めないで下さい。
- 速度調整をする場合、極め過ぎると油が漏れるので、調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。
※90°から閉まる迄の適正閉鎖時間は5～8秒です。(ドア幅が900mmの場合)
3. トップ軸は受金具に完全に入り込むようにして下さい。持出吊りの場合は、指定セットネジを所定の位置にしっかりと締込んで下さい。不十分な場合は、トップ軸が抜けたりドアが転倒する危険があります。強化硝子ドア用の場合は、上唇落下防止処置をして下さい。不十分な場合は、ドアが転倒したり、雨水が破断した場合に上唇が脱落する危険があります。
- 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。主軸、アーム、トップ金具は折損事故につながるためご注意ください。
- 水のかかる場所（プール、浴室、外部等）には使用しないで下さい。破損時や定期清掃の時に、本機に蒸気がかからないようにして下さい。
- 強風が吹いている時やドアを急に閉閉すると、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があるので注意して下さい。開放角度以上で閉るとドアや壁等の損傷、本機が破損しドアが転倒する大きな事故が発生する危険があります。風の強い場所には、カタログ表示よりランク上の品番をお使い頂き、風除室、戸当りの設置や一方閉せにする等の安全措置を講じて下さい。
- ドア及び金物にぶら下がって置けないように注意して下さい。
- 本体はモルタルにて固定して下さい。

商品保証について

弊社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことを約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下不具合といふ)が発生した場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換をご依頼下さい。

保証期間

- 建築会社様よりの引渡し日(注1)(注2)から1年間。
 (注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。
 (注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、又はその他の記載事項に基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に明示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。
ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

- 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換となります。
- ① 施工要領書などに基かない施工の不備に起因する不具合
 - ② 製品の性能、又は適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
 - ③ 窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
 - ④ 建築躯体の変形などに起因する不具合
 - ⑤ 製品、又は部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う蓄積した消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品の変質、変形など)、又はこれらに伴うドアの閉鎖停止位置のズレや開放時の停止不能などの不具合
 - ⑥ 製品周辺の自然環境、環境などに起因する腐食、又はその他の不具合(例えば、塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿・多湿及びオゾンガス環境下による不具合など)
 - ⑦ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、寒風、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
 - ⑧ 引渡し後のドアの操作誤り、フロアヒンジの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑨ お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
 - ⑩ 床クリーニング仕上の洗剤、薬品、水などの浸入及び浸入した水の凍結による不具合
 - ⑪ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
 ※お客様が法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

本書は必ずお施主様または管理者様へお渡し下さい。

NEW STAR 日本ドアアーチエック製造株式会社
 SINCE 1919
 東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL.(03)3871-1411(代)
 (ニュースター東京ビル)
 大阪本社 / 〒544-0014 大阪府生野区巽東三丁目17番10号 TEL.(06)6758-1251(代)

札幌支店 / TEL.(011)851-8255~6
 北陸支店 / TEL.(076)243-2120(代)
 名古屋支店 / TEL.(052)981-7531~2
 福岡支店 / TEL.(092)271-5491(代)
 仙台営業所 / TEL.(022)284-7501
 静岡営業所 / TEL.(054)238-2751
 広島営業所 / TEL.(082)877-1611~2
 高松営業所 / TEL.(087)843-1212~3

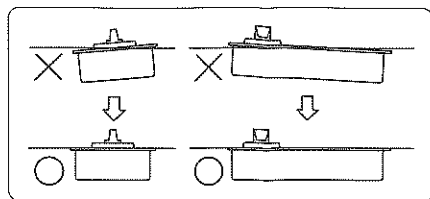
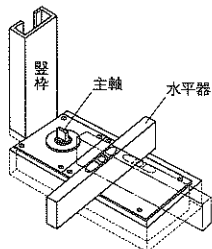
ホームページ <https://www.e-newstar.co.jp/>

注意事項

■取付時の注意

●水平レベル

本体の水平を出す。

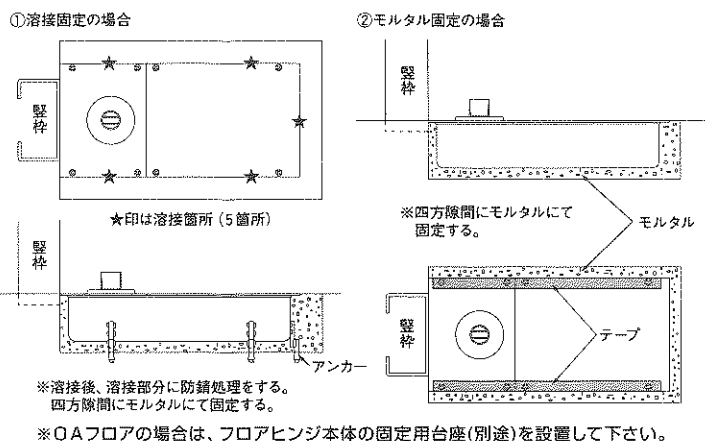


●本体をたて枠と平行にする



●本体を固定する

本体をモルタルにて固定する前に、プレート取付ネジの頭にモルタルが詰まらないようテープにて養生して下さい。

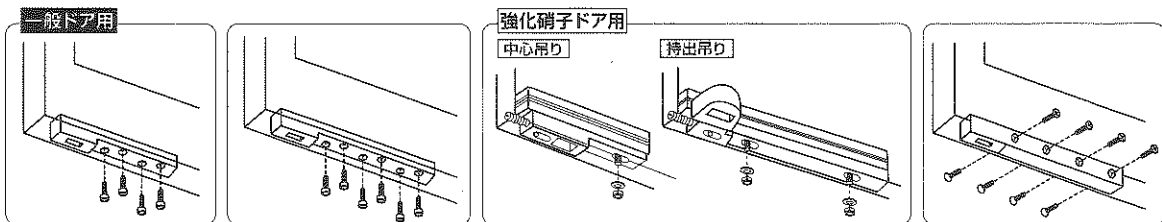


●アームの締付け

アームの締付け不足は音鳴り、ガタツキの原因になります。しっかり締付けて下さい。

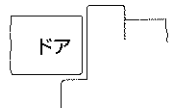
835,845

855



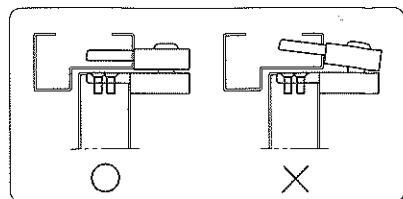
●戸当り(別途)の設置

一方開き用ヒンジには押し代がついています。ドアを閉めた時に、反対側へ7°行き過ぎて停止しますので、必ず戸当り(別途)を設置して下さい。



●トップピボットの取付 (持出吊り)

必ず平行を守って下さい。



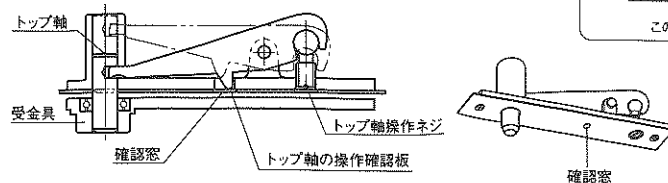
●高さ調整

ライナー等を使用し主軸は削らないで下さい。

■ドア倒れ防止・安全確認方法

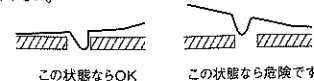
ドア吊込後、ドアがトップピボットで確実に保持され、倒れ等の事故につながらないように、その安全性を確認する方法です。必ずご確認下さい。

●中心吊り

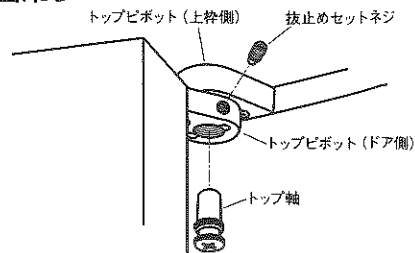


トップ軸が受金具に完全に入り込むようトップ軸操作ネジが回らなくなるまで締込んで下さい。

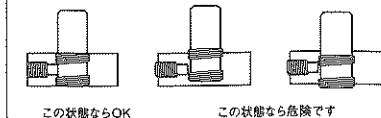
トップ軸の操作確認板がおりているか確認窓からチェックして下さい。



●持出吊り



トップ軸をトップピボット(ドア側)と同面になるまで締込んだ後、抜止めセットネジをしっかりと締込んで下さい。



抜止めセットネジは完全に取外してからトップ軸を操作して下さい。

■上框落下防止について 強化硝子ドア用

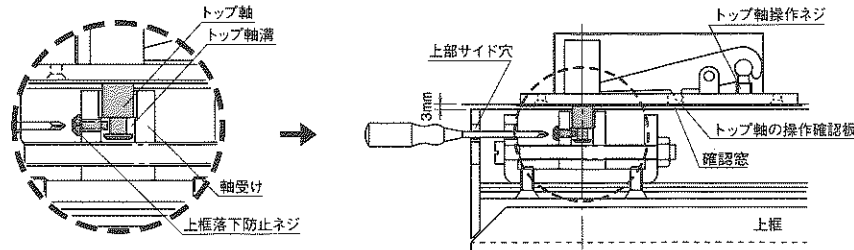
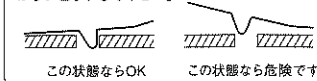
強化硝子ドアは、硝子が割れると上框が落下する恐れがあり大変危険ですので、下記手順でドアを吊込み、安全を確認して下さい。

●中心吊り

1. 上部チリ寸法が3mmになるようにドアを吊込み、トップピボット上枠側(上框落下防止対策品)のトップ軸をドア側の軸受けに挿入して下さい。挿入確認は右図参照。
2. 上框の上部サイド穴(10φ)から、プラスドライバーで下図トップ軸の溝にネジがはまりこむように、上框落下防止ネジを締込んで下さい。
3. 上框落下防止ネジを締込み後、ドア吊込操作ネジでトップ軸を上下させて上へ抜けにくい確認して下さい。

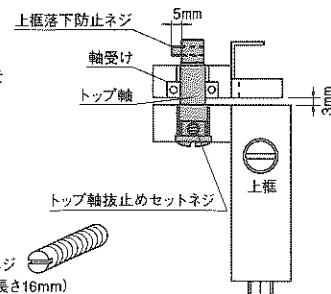
トップ軸が受金具に完全に入り込むようトップ軸操作ネジが回らなくなるまで締込んで下さい。

トップ軸の操作確認板がおりているか確認窓からチェックして下さい。



●持出吊り

1. ドアを吊込む前に、トップ軸の先端部にねじ込まれている上框落下防止ネジをマイナスドライバーで取外して下さい。
2. トップ軸抜止めセットネジを緩めて、トップ軸を取外して下さい。
3. ドアを吊込み、トップ軸を軸受けに挿入し締込んで下さい。
4. トップ軸抜止めセットネジをしっかりと締込んで下さい。
5. 挿入したトップ軸の先端部に、あらかじめ外しておいた上框落下防止ネジを取付け、右図のように5mmほど引出して下さい。



上框落下防止ネジ
(ネジの径M5・長さ16mm)